

平成26年度開通予定の「下関北バイパス」を山口大学新1年生が見学しました。

4月8日に山口大学工学部社会建設工学科 新1年生約90名が、今年度の完成に向けて現在工事が最盛期の「下関北バイパス」を見学しました。国土交通省山口河川国道事務所の工事担当者が、事業概要や橋などの構造物について現場を見ながら説明をしました。工事中の構造物を間近で見て、学生は写真やメモをとり、熱心に質問をされました。



下関バイパスは、現道部の交通混雑の緩和及び交通安全の向上を目的とした、下関筋川町から下関市安岡駅前二丁目に至る延長6.8kmの道路です。  
今年度完成に向けて、用地買収及び橋梁・舗装工事などを進めています。

学生の感想「下関北バイパスを見学して…」

- ☆いつもは何気なく使っている道路でも、しっかり計算してつくられている。道路はこのような課程でできているのだと、実際に肌で感じた。
  - ☆現場見学会を初めて経験し、新鮮で興奮した。国土交通省に入りたいです。
  - ☆日本の技術の高さに驚いた。鉄の板が巨大な橋を支えているとは知らなかった。
  - ☆バイパスが開通したら行き来がすごく早くなると思うので楽しみにしています。
- ～土木事業の魅力が伝わったと思います。～



佐波川「新橋地区かわまちづくり」計画が登録され、伝達式を行いました。

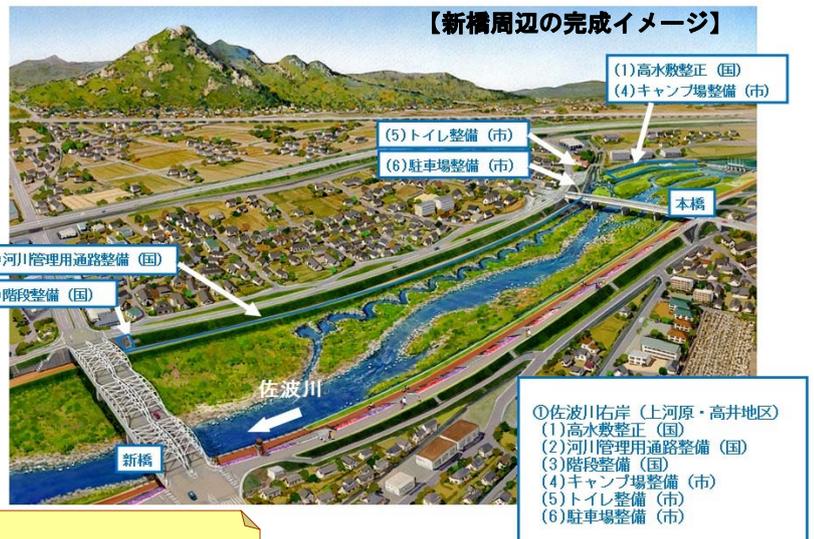


▲ 伝達後に固く握手する防府市長(左)と事務所長

防府市佐波川 新橋地区が「かわづくり」と「まちづくり」が一体となって整備を行える支援制度、「かわまちづくり」に登録されました。  
今後は、防府市と国土交通省 山口河川国道事務所が協力して、新橋地区を訪れる人たちの憩い場として、公園やキャンプ場を整備する予定です。

防府市新橋地区は、イベント(ホテルのタベ、灯籠流し)、環境学習(水生生物調査)や散策、憩いの場として、日頃から地域の方に多く利用されている地区です。

山口河川国道事務所では、「新橋地区かわまちづくり」計画をもとに防府市と連携して階段・河川管理用通路などの整備などを行います。



RIVARO[リバロ]とは

RIVer And ROad(川と道路)の頭文字。  
山口河川国道事務所の川づくり、道づくりをイメージしてネーミングしました。  
皆さまに親しまれる地域づくりを目指して日々頑張りますので、よろしくお願いします。  
山口河川国道事務所のホームページにも掲載しています。

お問い合わせ: 山口河川国道事務所 計画課  
0835-22-1819  
山口河川国道事務所ホームページ:  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

